

7月2日、その声に、耳を傾けてみませんか

親を頼れなかった若者たちが、社会を変えるために、
自らの経験をスピーチするオンラインイベント「コエール 2022」を開催します



**親ありき日本をこえる
2022.7.2 (Sat)**

親を頼れない子どもたちの存在を、見過ごさないために。
誰もが、生まれ育った環境に縛られることなく、未来を切り開けるように。
悲しいニュースに心を痛め、何か自分にできることを探している大人たちが
共に一歩を踏み出すためのイベントです。

■ その「壁」を知って

児童養護施設や里親家庭など「社会的養護」のもとで育った子どもたちが、どんな壁と向き合っているか、ご存じですか。

ちょうど1年前、厚生労働省は、社会的養護の経験者（ケアリーバー）を対象に行った初の全国実態調査を公表しました。金銭的な理由などで、「過去1年間に医療機関を受診できなかった」との回答が2割を占めるなど、これまで把握されてこなかった実態に少し光が当てられました。

私たちブリッジフォースマイル（B4S）が昨年、全国の児童養護施設を対象に行った独自のアンケート（<https://www.b4s.jp/post-3638/>）でも、健康的な生活を送るために不可欠な「健康保険」につい

て、法的に「自立」を求められ、児童養護施設を退所する19歳の4月時点で「加入していない」「わからない」という子どもたちが、約3割に達しました。

B4Sの全国調査では、返済の必要のない「給付型」の奨学制度が充実したこともあり進学率が2013年調査の2倍となり、施設を退所後2～3年を経て連絡のとれないケースが2008年調査から半減するなど、ケアリーバーと呼ばれる子どもたちの取り巻く状況は、徐々に改善されつつあるように見えます。

しかし、一方で、2020年度に児童相談所（児相）が「虐待」として対応した件数は、全国で20万5029件に上り、過去最多を更新しました。虐待死は全国で57人（心中を除く）に上り、半数が0歳児でした（厚労省調査）。虐待という「日常」を強いられながら、公的機関などに把握されず、「社会的養護」を受けられないまま成人を迎える子どもも少なくなく、その実態は「氷山の一角」にすぎません。

むしろ、新型コロナウイルスの影響で、置かれている状況は一段と厳しさを増しています。

■ その「輪」に加わって

今年4回目を迎える「コエール2022」には、20～30代の若者8人が登壇します。なぜ、自ら手を挙げ、自身のつらい経験を人前で語る決意をしたのか。それは、自分たちと同じように、いま、この時にも人知れず、つらい思いをしている子どもたちがいることを多くの人たちに知ってほしい、一緒に社会を変えていくため、多くの大人たちに「当事者」意識を持ち、その輪に加わってほしい、と願うからです。

社会問題の「当事者」が自らの経験を発信することには、大きなリスクを伴います。十分に理解されず落ち込んだり、心ないコメントを投げつけられて傷ついたり。社会でケアする体制も整っていません。

コエールでは、スピーチする若者一人一人に、複数の社会人サポーターが寄り添い、つらい経験と共に向き合い、どうしたらきちんと伝わるか、一緒に考え、本番当日を迎えます。そして、発表後もケアと伴走に努め、自立を応援し続けます。

8人の声に、耳を傾けてください。自立を目指すケアリーバーたちの前に立ちはだかる壁を、一つ一つ取り除いていくため、8人の勇気を受け止め、考え、そして、一緒に行動してください。

8人のメッセージを、より多くの人たちに届けるため、この問題の背景や課題などとともに、広くお伝えいただければ幸いです。発表する若者（イルミネーター）や、B4S代表・林恵子への取材もお待ちしております。本番当日の取材と合わせ、広報担当へお問い合わせください。

コエール 2022

7月2日（土）13:30～15:30

オンライン配信（アーカイブ配信あり）

チケット：2000円（割引あり）

第1部 親を頼れなかった当事者たちのスピーチ

第2部 里親、ボランティア、企業担当者たちのトークセッションなど

総合司会



町 亜聖さん
フリーアナウンサー



古原靖久さん
俳優

「コエール 2022」専用 Web

<https://coyell.b4s.jp/>



チケット申し込み (Peatix)

<https://coyell2022.peatix.com/view>



主催 認定NPO法人ブリッジフォースマイル (B4S)

代表電話 03-6842-6766

■参考図書

親を頼らないで生きるヒント — 家族のことで悩んでいるあなたへ (岩波ジュニア新書)

著者・コイケジュンコ 協力・認定NPO法人ブリッジフォースマイル

親を頼れなかった若者9人の体験談をもとに、いま、まさに困難を抱えている子どもたちに向けて、どのようにSOSを出したらいいのか、わかりやすく解説しています。

【取材のお問い合わせ先】特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル 広報担当 島田季一

電話 070-8800-0297 / Eメール kshimada@b4s.jp